



理事長挨拶

猛暑の連続、暑かった今年の夏がようやく終わり、朝夕の風はひんやりと秋の気配を感じさせるこの頃となりました。みなさまは、暑かったこの夏、どのようにお過ごしになりましたでしょうか？育成会は、活動日とショップを10日間夏休みとし、一息つくことが出来ました。

その後の8/30、9/1、9/6の3日間、育成会としての初めての試み、「知的障害者ガイドヘルパー養成講座」を開催致しました。大学生等9名の参加申し込みで、9時～4時迄の3日間を講義、演習、実習の順で養成研修課程カリキュラムが組まれ、無事 修了証明書を交付することが出来ました。今後ガイドヘルパーとして、幅広く活動して頂く事を期待しております。

これから12月にかけて、伊勢原市の障害者スポーツ大会参加、研修会(成年後見制度について)、道灌まつりバザー出店、育成会県大会、ボランティアフェスタ出店、ふれあいまつり主催、みかん狩り、ディズニーシーへのレクリエーションと行事や活動が沢山組まれていますので、多くのおみなさまの参加とご協力をお待ちしております。

研修会のお知らせ

テーマ『成年後見制度について』

講師：神奈川県手をつなぐ育成会会長 香坂 勇氏

日時：平成19年 10月 1日(月) 午前10時より

場所：伊勢原シティプラザ3階 記帳指導室

☆ 参加希望の方、また詳しいことを知りたい方は 松野 0463-95-7005 または
中野 0463-92-8680 までお問い合わせ下さい。(申し込み〆切 9月25日)



「第45回神奈川県手をつなぐ育成会県大会」のお知らせ

テーマ『支援法施行後の地域の暮らし』

—課題と問題点を洗い出そう!!—

日時：平成19年 10月 18日(木)

会場：相模原市あじさい会館

日程：受付 9:30～

研修会 10:00～12:00

☆ 参加希望の方、また詳しいことを知りたい方は、
湯浅(電話、FAX 93-1060)までお問い合わせ下さい。

第41回関東甲信越大会の報告

9月4日(土)～9日(日)群馬県みなかみ町で開催されました。「関プロ大会」へ伊勢原より4名出席しました。第6分科会「育成会活動」に参加し、提案者の報告や現状と今後の育成会活動の課題等についての意見交換等で会場は熱気溢れる盛り上がり様でした。「井の中の蛙…」正に有意義な時を過ごしました。

(県・理事 湯浅 貞子)



育成会 会員活動

伊勢原市障害者スポーツ大会のお知らせ

- ☆日時 平成19年9月24日(月) 振替休日
 - ☆場所 伊勢原市体育館 (伊勢原市総合運動公園内)
 - ☆持ち物 上履き(競技に参加する人は、運動しやすい靴)、飲み物等
 - ☆その他・市からお昼の「お弁当(お茶)」がでます。
 - ・送迎バスが、午前9時、午前10時の2回、伊勢原駅北口市営駐車場横からでます。
 - ・帰りは、スポーツ大会が終了次第、運動公園から出発します。
 - ・当日は、ボランティア(ボラ協や高校生他)の方も多数参加して、一緒に運動します。
- *育成会の席が用意されていますので、ぜひ多くの方の参加をおねがいします。
(尚、詳しいこと等お知りになりたい方は、大杉(93-4844)までご連絡下さい。)

【道灌祭り献品のお願い】

10月13日(土)に行なわれる道灌まつりに、育成会では例年のようにバザーを行ないません。バザー販売用にご家庭で不要な品や眠っている品物等ありましたら、ぜひ献品して頂きたくご協力お願い致します。

**献品連絡先 小野 ☎93-4698 田中 ☎93-6764
事務所☎92-6125

◎事務所(住所・田中828 コーポ山口103 伊勢原高校近く)に直接持って来て下さる方は、10月4・11日の木曜日の10時~15時にお願ひします。又ともしびショップ“みかん“(体育館2階)でも受け付けます。どうぞよろしくお願ひ致します。

道灌祭りでのバザーお手伝いの募集

道灌祭りでのバザーのお手伝いをして下さる方を募集します。事務所での値付けなどです。ぜひ皆様足を運んで頂き、お手伝いお願ひ致します。

◎バザー用品への値付け

*日時 10月4日(木)、11日(木) 10時~15時
*場所 事務所(田中828 コーポ山口)

◎当日のバザー用品の運搬

*日時 10月13日(土) 事務所10時30分(積み込み)⇒ブックオフ駐車場まで

◎当日の販売の手伝い

*日時 10月13日(土) 11時~18時 ブックオフ駐車場にて

*以上の日時で都合のつく時間帯で、お手伝い頂ける方は小野(93-4698)までお電話下さい。よろしくお願ひ致します。

夏季麺類完売の御礼

皆様のご協力により、そうめん161箱、冷麦42箱を完売することが出来ました。どうもありがとうございました。

また、冬季にはうどん、ちゃんぽん皿うどん等を販売致しますのでよろしくおねがいします。

ドリームだより

「一人で遊びにいきたいけど、一人で出かけるのはちょっと心配」「私には行けないけど、子供を遊びに連れて行ってほしい」・・・そんな声をよく聞きます。折角ガイドヘルパーという制度があるのに「ガイドが少ない」ということで、利用できないことがあるようです。そういう要望に応えるため、今年度『ガイドヘルパーの養成事業』を下記の要領で行いました。

『 知的障害者ガイドヘルパー養成研修課程カリキュラム 』

	講義内容		講義担当職種
1 日目	障害者(児)の心理	①時間	福祉相談員
	障害福祉の制度とサービス	②時間	障害者行政担当者
	知的障害者の疾病と理解	④時間	看護師
2 日目	ホームヘルプサービス概論・職業倫理	③時間	介護福祉士・介護支援専門員
	ガイドヘルパーの制度と業務	①時間	福祉相談員
	移動介助の基礎知識	②時間	養護学校教諭
3 日目	移動介助の技術	①時間	社会福主事任用
	移動実習	⑤時間	生活指導員

18歳～37歳の若い方たち9人が受講、移動実習に熱心に取り組みました。移動実習の日はあいにく、台風接近で大雨でしたが全員参加。当日はガイドと利用者(4人～6人グループ)の顔合わせをし、お互いに確認をしてでかけます。療育手帳を使って『電車に乗る』『映画館へ入場』『レストランに入り、好きなものを食べる』などの課題を終えて帰ります。中には『プリクラ』をしたグループあり、楽しい移動実習になりました。終了した方全員が移動支援(ガイド)をする意志があり、皆さん「ドリームに登録してガイドの仕事をしたい」と明言。この新人ガイドさんたちと、経験のあるガイドさん2人を加えて、10月から移動支援事業(ガイド)を行う予定です。

《ともしびショップ “みかん” より》

9月に入り、朝がたなど少しは涼しさを感じられるようになりました。

この夏はとても暑かったので、新しくメニューに加えたつめたい「ざるそば」が好評でした。

メンバーの夏休み。

家でのんびり、優雅に過ごした人。

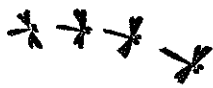
お姉さんとでかけた秋葉原のお店で“おかえりなさい お嬢様”と声をかけられた人。

お母さんと買い物に行き洋服を買ってもらった人。とそれぞれ楽しく過ごしたようです。

新しい仕事。

今月からいつもの仕事の他に、ふきん(タオルを二つに折り、まわりをぐるりと縫う)を作ることにしました。

始める前はちょっと心配でしたが、3人とも結構上手に縫えるのでほっとしています。



事務局だより



【お知らせ】

- ◎「伊勢原市手をつなぐ育成会」のホームページが出来ました。アドレスは <http://www.i-ikuseikai.or.jp> です。ぜひご覧になってみて下さい。
- ◎会員の皆様には昨年度に引き続き加入して頂きありがとうございます。8月31日現在、正会員48名、一般会員76名、賛助会員50名という状況です。
尚、今年度の会費をまだ納入されていない方、また新しく入会をご希望の方は事務局(92-6125)までご連絡下さい。

【活動報告】

- 7. 1 秦野精華園伊勢原市西部地区生活介護事業所「ひびた」開所式出席 10:00～(大杉)
- 7. 4 ふれあい福祉まつり第1回実施委員会 10:30～(大杉)
- 7. 23 ドリーム運営委員会 10:00～(大杉、佐藤、飯島)
- 7. 25 ボランティアフェスタ打ち合わせ (大杉)
- 7. 27 社協評議員会 [シティブラザ]14:00～(長谷川)
- 7. 29 さくらの家福祉農園理事会 15:00～(大杉)
- 7. 30 税理士の月次監査(6月分)(ドリーム職員、中島、飯島、長谷川、前場)
- 7. 31 中央公民館自動販売機の件で話し合い 13:00～(大杉、前場)
- 8. 1 第9回湘南西部福祉有償運送運営協議会 [市役所]14:00～(大杉)
- 8. 8 施設見学[秦野精華園グループホーム]
- 8. 22 民生委員推薦会委員委嘱式 [市役所](大杉)
- 8. 27 みかんスタッフ会議 10:30～(大杉、佐藤、中島、長谷川、小野、前場、竹内、中島ア、加地)
税理士の月次監査(7月分)(ドリーム職員、中島、飯島、長谷川、前場)
- 8. 28 障害者スポーツ大会打ち合わせ [市役所](大杉)
- 8. 30 知的障害者ガイドヘルパー養成講座 9:00～(大杉)
- 9. 3 編集会議 10:30～(大杉、中島、長谷川、中野、渡辺、松野)
- 9. 4 道灌まつり打ち合わせ 10:00～(田中)
- 9. 8,9 手をつなぐ育成会関東甲信越大会 [群馬水上](大杉、中島、飯島、湯浅)
- 9. 12 ふれあい福祉まつり第2回実施委員会 10:30～(中島)



去りゆくあつい夏—まだまだ想いはあつく—

季節は少しずつ秋に向かっていきます。今年の夏は74年ぶりに国内最高気温の更新(40.9度)があったり、予想通り日本は猛暑列島でした。あついあつい夏、こころに熱く残ることが各界各所にありました。甲子園の高校野球決勝戦ではけれん味のない佐賀北高が伝統の広陵高を八回逆転満塁本塁打で、勝利し優勝しました。佐賀北高はごく普通の高校ですが常に「ピンチの裏には必ずチャンスがある、それを生かそう」を合い言葉に最後まであきらめない粘りの野球が甲子園をわかれました。まさにこれぞ高校野球、これぞ甲子園野球でした。多くの高校球児や指導者に夢と希望を与えたと評価されています。大阪の世界陸上では女子マラソンで土佐選手が銅メダルを手に入れました。これも最後まであきらめない物凄い執念でまさに快挙でした。北京オリンピックでの期待が膨らみます。スポーツによる感動は本当にすがすがしいと思います。

95歳の現役映画監督新藤兼人が自身の1年半ほどの軍隊生活での不条理な経験を描いた反戦ドキュメンタリー映画「陸(おか)に上った軍艦」を作成しました。監督は広島出身でどうしても原爆投下の瞬間の悲惨さを映画化したいと強い希望を持っているそうです。95歳の情熱と意欲に頭が下がります。

アメリカでは、広島・長崎の原爆投下の悲惨さを見つめ核兵器の脅威を訴えるため「ヒロシマ・ナガサキ」という映画を、アカデミー賞受賞の日系三世のステイブン・オカザキという監督が作成したそうです。

遠く中米のニカラグアでは国際協力機構の青年隊員による自発的活動として「原爆展」を今まで世界30カ国で開催し、今年もアルゼンチンやパラグアイで開催するそうです。

身近なところでは平塚市の八幡宮で「平和を願う新能」が8月6日平塚大空襲の犠牲者を弔い平和を願い開催されました。平塚大空襲は、昭和20年7月16日夜中B29によるもので当時の平塚市の約8割が焼土と化し、全戸数の約6割が焼かれ死者237人、重軽傷者35,336人と大変な惨事でした。このほか平和への、そして反戦への想いは数多く見られました。いつか来た道に引き返すことが絶対にならないように、戦争や核体験は風化させてはいけないうちにあらためて痛感すると同時に、戦争体験者が年々減少する中いかに戦争を知らない世代に戦争の悲惨さ無意味さを引き継ぐか、大きな問題だと思えます。

政治の世界も熱く燃えました。先の参議院選挙でははじめて与野党逆転となりました。内閣も人心一新ということで出直しました。しかし10日もしないうちにまたぞろ政治と金の問題が日替わりメニューのようであとからあとから続出です。他のスキャンダルも続出です。これでは政治への不信は募り無関心になるのはやむを得ないと思えます。でも今こそ「みらい」のためあきらめることなく忍耐強く、そして勇気を持って関心を持ち続けることが大切なのではないでしょうか。
(事務局長 飯島 哲郎)